

中信地域に笑いを提供し、元気な地域づくりに寄与する事業

取り組みに至る背景・事業の目的

厳しい財政状況の中、住民も地域の担い手となるよう、「協働の精神」がますます重要になっている。この地域を元気にしたい、活性化させたいという思いから、笑いをテーマに活動をはじめた。

落語を通して笑いを提供することにより、子供から高齢者まで、すべての「輪」と「和」を育て、それがやがては元気な地域づくり、地域の活性化につなげる機会とする。

事業内容

- 「笑って健康、元気な地域づくり」をモットーに、中信地域を中心に各地の敬老会、ふれあい会などに要請されて落語の出前を実施した。
- 住民に落語を親しんでいただくため、定期的な公演や出前公演を実施し、また、本物の落語に親しんでもらうための落語会も実施した。

※落語公演 55回

- ・村内公演（敬老会・村営温泉施設「すずむし荘」定期公演など） 17回
- ・村外公演（大町市、池田町等の大北地区及び安曇野市・松本市等の中信地域） 38回



事業効果

- 公演回数55回を数え、落語を親しんでもらえる機会が増えた。
- 村内公演に留まらず、中信地域各地から公演依頼を受けるようになり、活動範囲が広がった。
- マスコミ等でも報道されるようになり、信州大学医学部付属病院からも入院患者向けに公演依頼があり、健康づくりの面からも大変有意義なものとなった。
- 真打ちのプロを招いて、自主公演会「まつかわ落語会」を開催し、200人を超す大勢の方が笑い、楽しみ、「笑い」により地域の活性化を図ることができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

新規会員の募集や会員個々の技術向上に努め、常に新しい笑いの提供ができるようにしていきたい。この活動が地域に根ざした形で地域に浸透していくように、さらなる広報活動に努めたい。

県内の落語研究会や他の落語サークルとの連絡研修会等を実施し、多くの定期公演や出前公演等が開催できるようにしていきたい。

今後も“笑って健康、元気な地域づくり”を目指し、継続して取り組んでいきたい。

【選定のポイント】

笑いを提供するこの事業は、元気な地域づくりのみならず、健康づくりにも資する事業である。他地域からの公演依頼に応じるなど、年々公演回数も増え、継続・発展性も認められる。

団体名	まつかわ落語会「風まんだら」(松川村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 代表	宮澤 敏 電話 0261-62-7418	事業費	1,419,318円
メールアドレス	miazmatu@plum.plala.or.jp	支援金額	1,106,000円